



今月の表紙は、大草保育園の「手作り流しうどん」です。たけのこ掘りをさせてくれた山の所有者のおじいちゃんおばあちゃんを保育園に招待し、園児たちが2日ばかりで作った手作りうどんを、夏らしく流しそうめんのスタイルでふるまひ、感謝の気持ちを伝えました。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G  
E-mail:kikakujocho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139

## こつたの民話

### 「とっくり沢」 野場

むかし、野場に一人の男が住んでいました。この男は山にいつては「たきぎ」を採り、それをとろの町で売って暮らしていました。

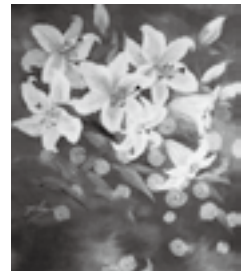
今日も夏の暑い日がかんかん照りつけていましたが、山に入って、たきぎを採っていました。「のどが渇いたなあ。沢の水でも飲むか。」ふと舌ばけた五合ばかり入るとっくりがあることに気がつきました。「このとっくりに入っているのが酒だったらなあ。」とじょうだんをいいながら一口飲んでみました。「ひゃあ、酒だ。なんてうまい酒だ。」びっくりするやら喜ぶやら。「こりゃあ神様からの授かりものだ。大事にせにゃあならんな。」と半分だけ飲んであとの半分を残しておきました。

次の日、残りの酒を飲もうと、男はまた沢にやってきました。「おや、ふしぎだ。とっくりがまたいっぱいになっとる。やっぱり神様が働き者のおれに授けてくださったんだ。」男はまた半分だけ残して

おきました。「ああ、すっかりいい気分になってしまった。とろの町に行くのはやめたやめた。」こんなふうにして、その後、男は働くのをやめてしまいました。

「おい、お前。昼間からよっぱらってばかりじゃないか。」仲間の男が声をかけました。「そうだよ。景気がいいんだ。おれには神様がついているんだ。もう働かなくてもいいんだ。」「それはどういうことだ。訳を聞かせろ。」男は初めは言葉をにごしていましたが、よっぱらった勢いでつい、このふしぎな話のことを話してしまいました。

するとこの話は野場中に広まってしまいました。そして明るる朝にはわれもわれもと、この男について沢へいき、次から次へ酒を飲んで、村の男たちはとうとう全部飲み干してしまいました。それから、このとっくりからもうあのうまい酒は出なくなったということです。〔「こつたの民話」要約〕



たきよう まさえ  
竹境 将江 さん

## みんなの作品展!

平成23年度幸田文化協会春の文化展(和紙ちぎり絵)からのセレクトです。



さいとう ふみこ  
斉藤 文子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

## 「えぞへる」

### 「えぞへる」

9月1日は防災の日。伊勢湾台風も9月でしたが、お宅の「防災計画」は万全ですか…

「ほや、避難所までの道ぐれーわかつとるわ。ちつても、地図んえぞくつたぎしだけんな」

「もちろん、避難所までのルートは把握しているよ。とこつても、地図に書き込んだだけだけどね」という意味です。

「えぞへる」は、「えぞへる」ともいうように、「えぞる(絵取る)から転じたものです。「絵取る」とは、彩る(色取る)と同じく、色を塗ることですが、絵や図、文章に補筆すること、なぞのこと、この地方では「えぞへる」といいます。ですから、子どもの好きな塗り絵も「えぞへる」のです。あの大地震から半年、東北の各地は、今も厳しい状況にあります。この地方も、東海地震などいつ災害に見舞われるかわかりません。「備えあれば憂いなし」、幸田町総合防災訓練は、9月30日です。  
(文・こじわ)



青春  
トークリレー  
第222走者

とくます えつこ  
徳増 悦子 さん

芦谷区在住 24歳 販売員  
身長 160cm O型  
好きなタイプ 優しい人  
好きな芸能人 YUI

こんにちは。幸田町に住んで、早16年が経ちました。最初は慣れないこともたくさんありましたが、今ではこの自然がいっぱいの幸田町が大好きです。

私は昔から美容にとっても興味があり、将来は美容に関する仕事に就きたいと思っていました。今は百貨店の化粧品メーカーに勤めていますが、毎日とても充実しています。厳しいことを言われる事もありますが、お互いの意見を言い合うことによってスタッフ同士の絆が深まり、自身の接客の向上にもつながっています。

美容部門の仕事は本当に幅広い年齢の人が活躍しています。自分も今の仕事が好きなので、ずっと美容に携わる仕事を続けていきたいと思っています。



はろー  
キッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



わんぱくどより

「某日某日」  
「里保育園」

水となかよし！

「今日はプールある？」と毎日楽しみにしている子どもたち。「プール行くよ。着替えるよ。」と声をかけると、トイレを済ませた子から水着に着替えます。汗で服や水着が体にくっついて苦戦している子もいますが、みんな自分でやろうとする姿があります。

準備体操を終えると、いよいよプールです。シャワーを済ませ、順番に入ります。まずは体に水をかけ慣らし、次は顔つけに挑戦。「お水の神様こんにちは」で水中に潜ります。顔つけができない子も水面に「ちゅっ」とすることを目標にやっています。そして、子どもたちの大好きな洗濯機「スイッチオン」のかけ声でみんな同じ方向にぐるぐると走り、水の流れを作ってから「3、2、1」の合図でドボンとつかります。みんなの力で作る流れるプールです。



ビート板や浮き輪を使って、ふかふかと泳いだり、フラフープのトンネルをくぐったり、ベンチを使った即席のすべり台を滑ったり…思い思いに楽しみます。毎日、楽しく遊んでいる中で顔つけができるようになったり、泳げるようになったり、どの子も少しずつ成長が見られます。プール遊びを通して心も体も少しずつたくましくなっています。くっつきです。

ちゅと  
編集者の  
わんぱくど

▼とある町民の人から、  
「葭池欠問のバス停のベンチが腐ってくずれつつあったけど、ベンチを手作りして匿名で寄贈してくれた人がおるだよ。」  
との話を聞きまして。いつかのタイガーマスク(伊達直人)のような話。思わず見に行くと、素朴なベンチですが、思いやりの詰まったベンチがそこにはありました。町内の明るくて温かいニュースです。  
明るいニュースといえば、なでしこジャパンの活躍。すごかったですね！その名のとおり、「可憐で繊細だが心は強いナデシコの花」が見事開花した瞬間でした。また、ゴルフの有村選手のホテルインワンとアルパトロスの同一ラウンド達成しかり、もしかしたらAKB48の凄まじい人気も、彼女たちのパワーがもたらした必然的な現象なのかもしれません。日本女性の強さを改めて感じます。  
男子も頑張らなければ…。世間では、草食やら肉食やら言われていますが、僕が目指すのは「魁皇男子」。相撲の魁皇閣の精神力と引き際の良さ！努力し続けることの大切さ。  
よし、僕も努力するものを見つけよう！と、今AKB48のメンバーを10人ほど覚えるのに成功しました。(勤務時間外です)次は振り付けも覚えて運動不足解消だ！スポーツの秋が待っているのだ！でも、カチューシャ似合うかな。…魁皇閣に張り手されませんように。(T)

